

道内の感染状況等について

【令和3年2月26日】

主な指標の状況

	医療提供体制等の負荷			監視 体制	感染状況		
	病床全体	うち 重症者 用病床	療養者数		検査 陽性率	新規 感染者数	先週 1週間 との比較
全道 (2/25)	370床	6床	645人	2.3%	313 <small>人/週 (5.9人)</small>	0.90	29.4%
うち 札幌市内	104床	4床	286人	2.6%	151 <small>人/週 (7.7人)</small>	0.83	37.7%

ステージ4基準	350床	35床	796人	10%	796人/週 (15.0人)	増加	50%
ステージ3基準	250床	25床	増加	増加	133人/週 (2.5人)	増加	50%

※()は10万人あたりの新規感染者数

※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

最近の感染状況等について

【感染状況】

道内の新規感染者数は減少が続き、2月25日現在で10万人当たり5.9人/週となった。また、感染拡大の兆候を示す感染経路不明の割合や陽性率も低い水準で推移している。引き続き、各地で飲食の場面や職場などで感染が発生しており注意が必要。

地域別では、札幌市においては、2月25日現在で10万人当たり7.7人/週となり、減少傾向が継続している。また、小樽市においても減少が続き、2月25日現在で10万人当たり7.7人/週となった。その他の地域では、新規感染者数の減少が続いている。

このところ上昇傾向がうかがえる感染経路不明の割合については、感染者数全体が縮小傾向となっている中で、感染経路不明の数自体に大きな上昇はみられないが、引き続き注視が必要。

【医療提供体制】

入院患者数や重症者数等は緩やかな減少傾向が続いており、2月25日、医療提供体制の面での道の警戒ステージ4の目安である道内病床350床に近づいている。また、札幌市内においては病床110床を下回った。一方、医療提供体制への負荷が長期にわたりかかり続けており、引き続き負荷の軽減に努めていく必要がある。

【今後の対策】

目標としていた新規感染者10万人あたり15人/週を下回る水準を実現し、入院患者数も時短要請の前倒し解除の目安とした道内病床350床に近づき、札幌市内では110床を下回り、減少傾向となっていることから、対策の期限である2月28日をもって、札幌市内と小樽市内における不要不急の外出・往来自粛及び札幌市内における営業時短に関する要請、札幌市の警戒ステージ4相当の取扱いを終了する。

一方で、3月以降、就職・転勤、卒業・進学等に伴う人の移動や会食機会の増加による感染の再拡大に備えるとともに、安心してワクチン接種を受けられる環境づくりが必要である。また、未だに全国的に緊急事態宣言が発令されており、引き続き、飲食の場面における感染リスクの回避など感染拡大防止の徹底に取り組む必要がある。